

# 第8回FinTechフォーラム

## ～ 企業の決済・商流データの活用と未来展望 ～

2019年6月14日

トランザクション・ビジネス本部  
決済商品開発部長 鈴木 淳



LEAD THE VALUE

# ■ アジェンダ

---

**三井住友銀行の決済ビジネス**

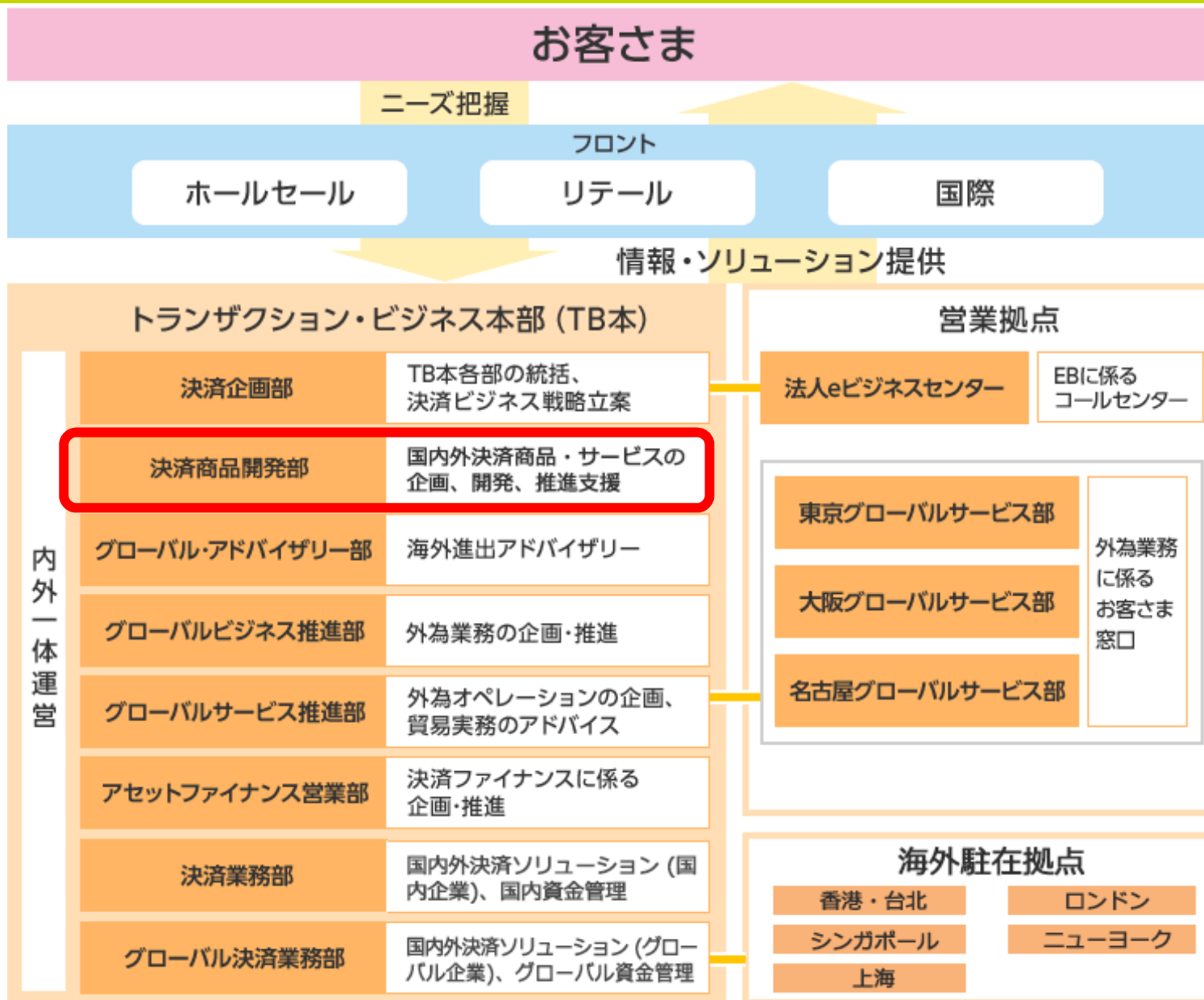
**金融EDIシステムの概要**

**金融EDIシステムの活用イメージ**

**API活用について**

**三井住友銀行のAPI取組状況・好事例**

# <三井住友銀行> 決済ビジネス推進態勢



# <三井住友銀行>決済ソリューションのご案内(業務・資金の効率化)

振込  
現金  
手形  
口座振替  
払込票

## 回収

- 売上金の入金確認の精度を高めたい、債権管理を強化したい
- 売上代金等の現金取扱リスクを軽減したい
- 手形・小切手の管理をアウトソースしたい
- 口座振替に関する煩雑な事務を効率化したい
- 払込票を用いた資金回収をしたい
- ネット取引の資金回収を早期化、効率化したい
- 複数の決済手段を組み合わせて利用したい
- 小口・大量の売掛金回収業務を合理化したい

## 業務効率化

- 決済関連業務をアウトソーシングしたい

お客さま 

## 電子記録債権

- 手形の発行や管理業務の合理化をしたい

## 資金管理

- 複数口座を一元管理したい
- CMSを早期にかつ円滑に導入したい
- グループ会社内の資金の有効活用によりグループ全体の金融収支を改善したい
- グループ会社の支払業務の一元化を早期かつ円滑に実現したい
- 日本から海外口座を管理したい(内部統制)
- 海外口座からの支払、資金移動をしたい

振込  
手形  
口座振替

## 支払

- インターネット経由で取引口座照会や振込の依頼を簡単に行いたい
- 複数拠点や複数人で同時に残高照会等を行いたい
- 振込の即時受付、即時処理を行いたい
- 手形の発行事務自体をアウトソースしたい
- 公共料金等の支払に関する事務を軽減したい
- インターネット経由で海外送金(仕向/被仕向)・輸出入関連取引・外貨預金振替・為替予約等を利用したい
- 受取人の口座確認を行った上で振込を行いたい
- 給与・賞与の支払業務をアウトソースしたい
- 給与前払にかかる事務を効率化したい
- クレジットカードで経費精算事務を合理化したい

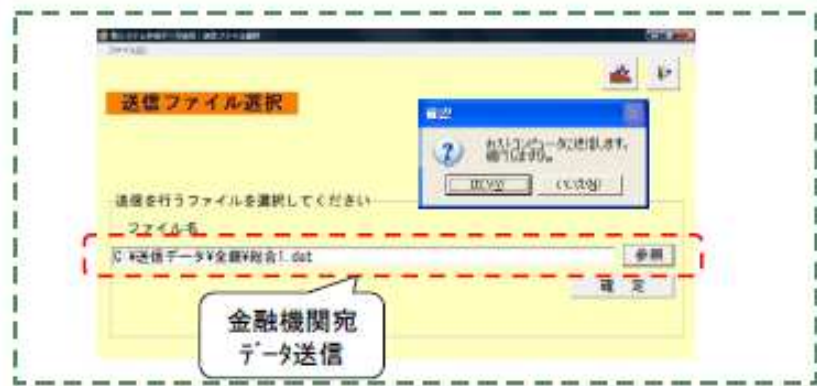
# <三井住友銀行>ファームバンキング・インターネットバンキング

ファームバンキング(一括ファイル伝送) : FB

インターネットバンキング : IB

## 概要

企業のホストやパソコンと銀行システムを電話回線(公衆回線等)で接続し、総合振込(複数件の振込依頼)や残高照会、入出金明細照会等を行うサービス。

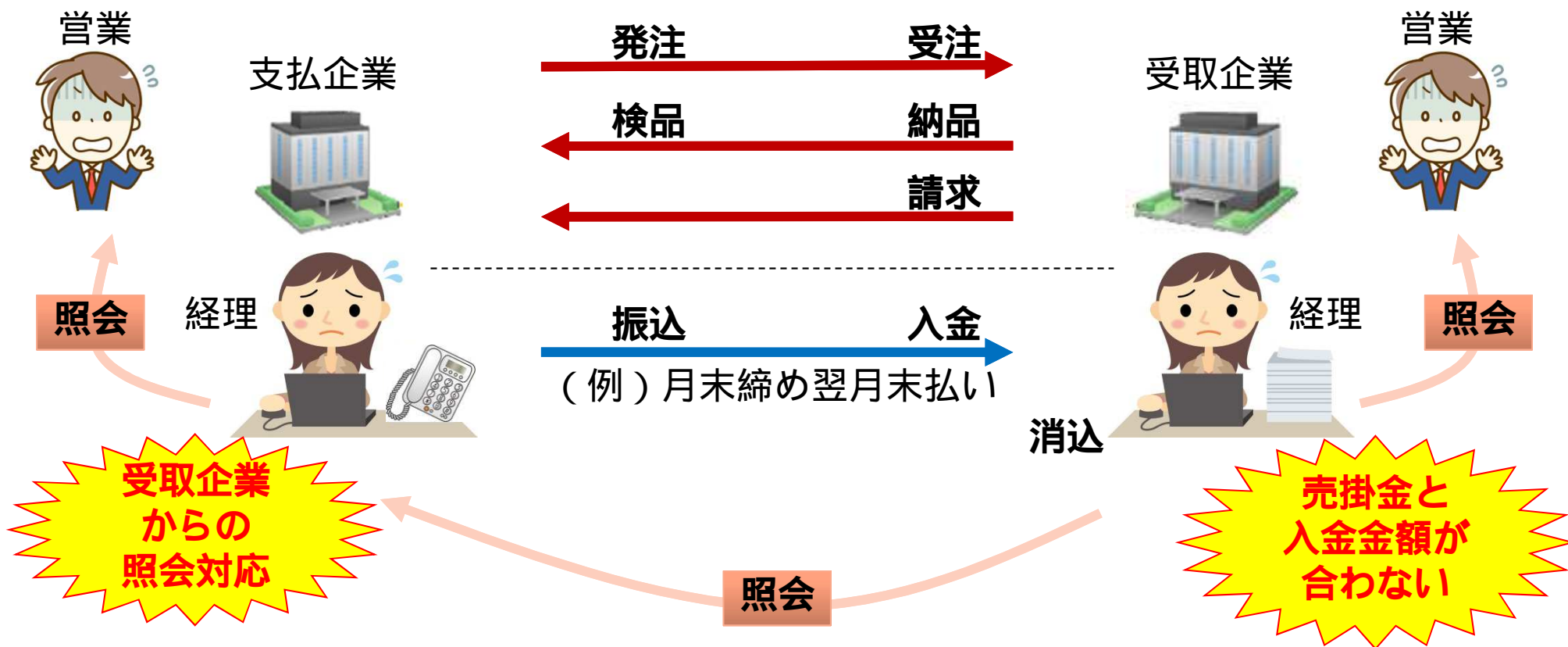


## 概要

企業のパソコンと銀行システムをインターネット回線で接続し、総合振込(複数件の振込依頼)や残高照会、入出金明細照会等を行うサービス。



## ■ 売掛金等の消込(回収確認)の現状

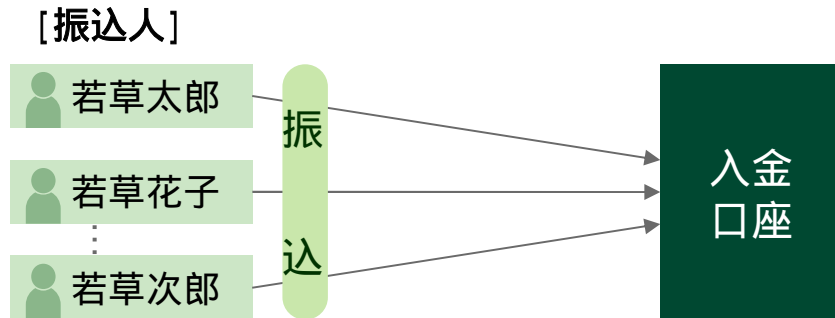


- 企業の多くが複数の商取引の代金を合算して支払い(振込)。
- 受取企業側で認識している回収金額(売掛金)と、実際の入金金額が合わないケースがある。その場合、営業担当や支払企業に照会するなどにより原因を究明する必要がある。

# <三井住友銀行>入金照合サービス「パーフェクト」

従来

振込人から入金口座へ直接振込み



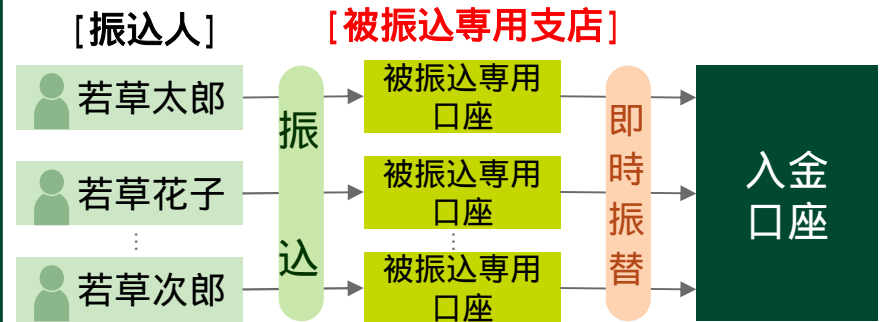
入金の確認は振込人名、振込金額に依るのみ

[振込入金明細例]

振込人名	振込金額	取扱銀行	取扱店名
ワカクサタロウ	¥30,000	トウザイギンコウ	トウキョウシテン
ワカクサハナコ	¥5,000	ナンボクギンコウ	オオサカシテン
ワカクサジロウ	¥100,000	ミットモギンコウ	ホンテンエイギョウブ

「パーフェクト」導入後

振込人毎に設定した被振込専用口座へ振込み



振込まれた資金は指定の入金口座に、被振込専用口座の口座番号を付けて即時に振替

[振込入金明細例]

被振込専用口座番号	振込人名	振込金額	取扱銀行	取扱店名
6000001	ワカクサタロウ	¥30,000	トウザイギンコウ	トウキョウシテン
6000002	ワカクサハナコ	¥5,000	ナンボクギンコウ	オオサカシテン
6000003	ワカクサジロウ	¥100,000	ミットモギンコウ	ホンテンエイギョウブ

## ■ 金融EDIとは

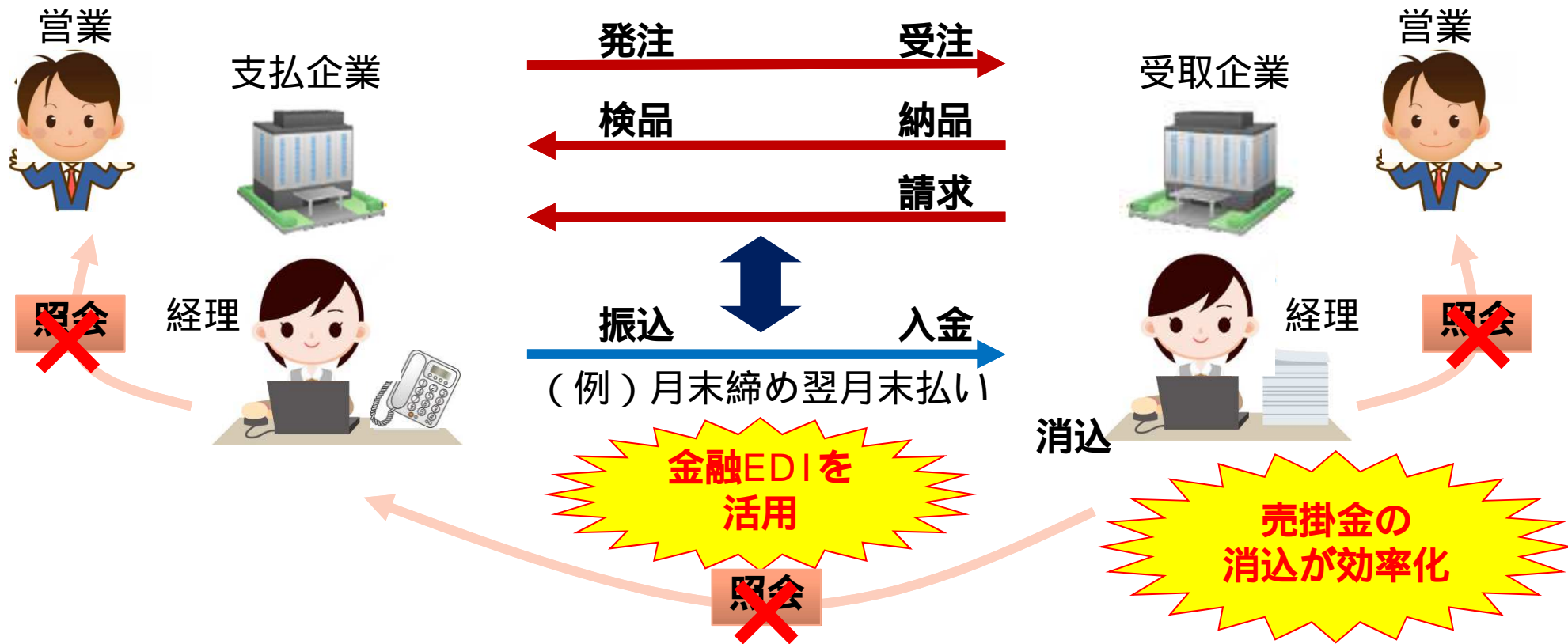
- EDIとは、**E**lectronic **D**ata **I**nterchangeの略称であり、商取引に関する情報を企業間で電子的に交換する仕組み

商流EDI：受発注や請求などの商取引に関する情報  
(企業 - 企業) を、電子データにより通信ネットワークを用いて企業間で交換・共有する仕組み

金融EDI：受発注や請求などの商取引に関する情報  
(企業 - 銀行) を振込等に添付し、交換・共有する仕組み

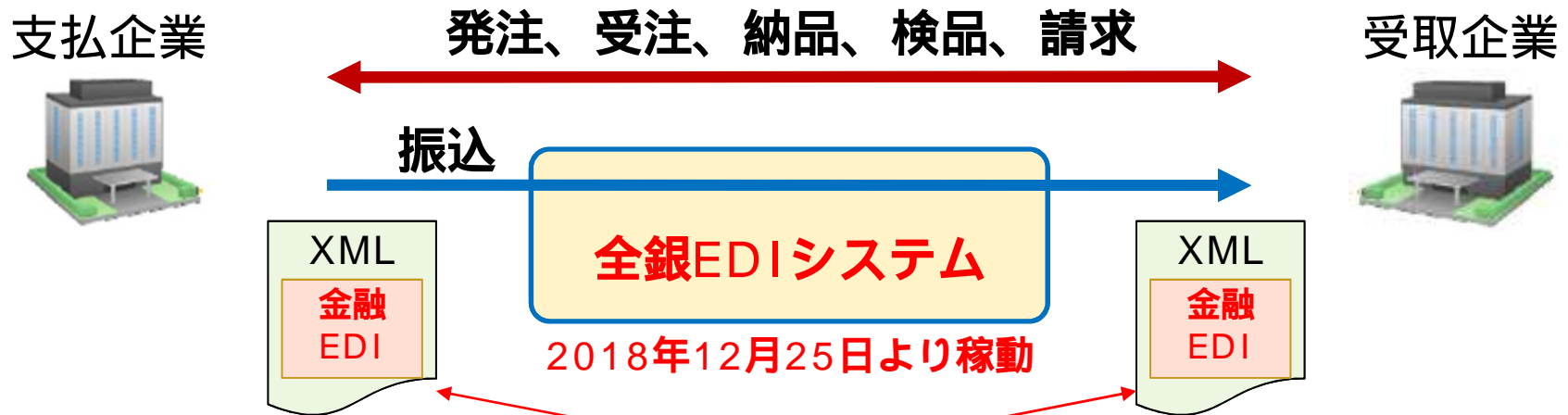


# 金融EDIの活用効果



- 金融EDIを活用することで、売掛金の消込が効率化。
- 経理業務の負担軽減のほか、営業担当や支払企業への照会も不要になる。

# 金融EDIの活用イメージ



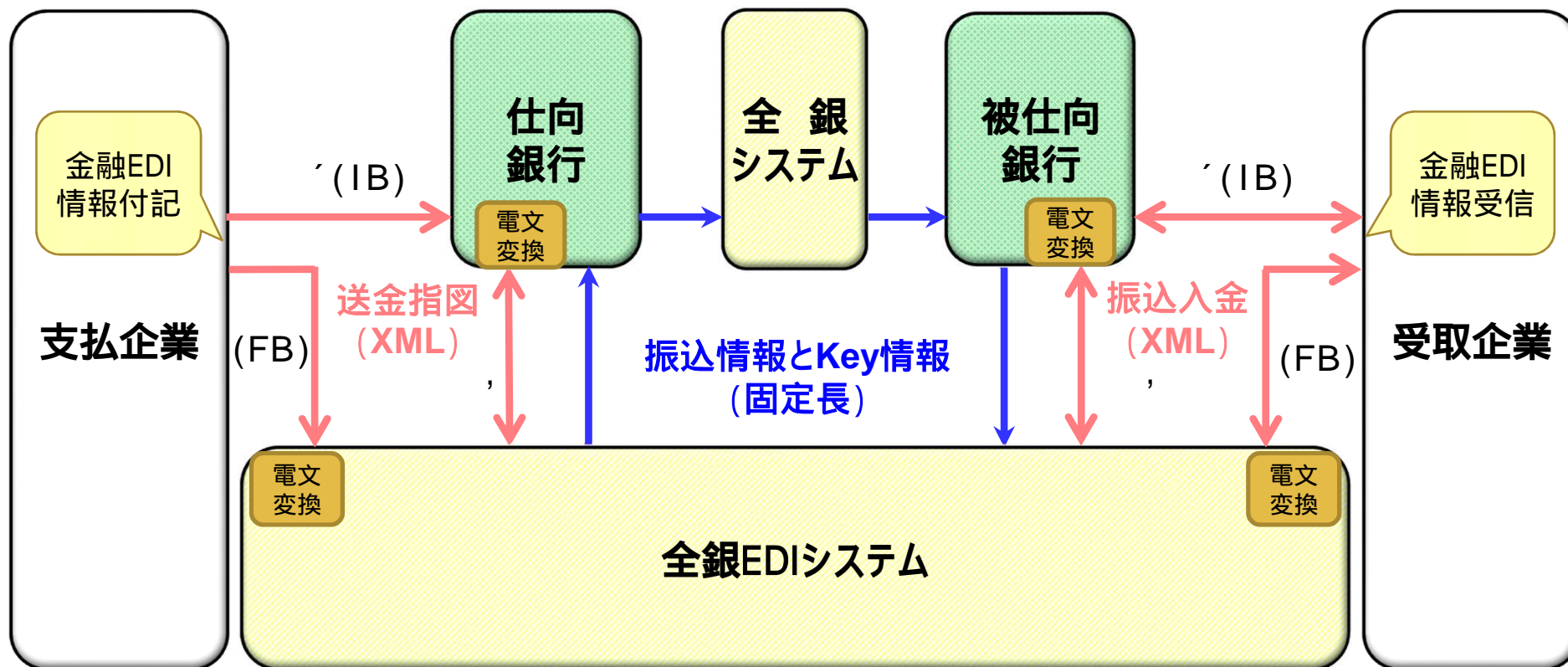
データ区分	照会番号	勘定日	入払区分	取引区分	取引金額	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名	請求番号	注文番号	品名コード	金額
2	00000001	170825	1	11	000067427880	三菱UFJ銀行(カ)	ミナバンク	パキ	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	¥162,000
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	¥3,455,827
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	¥492,480
									INV-17AUG-01			¥162,000
									INV-17AUG-01			13,823,309
									INV-17AUG-01			¥492,480
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	¥162,000
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	¥1,727,914

従来の振込入金情報

金融EDI情報

全銀EDIシステムの構築により、膨大な金融EDI情報を搭載した「XML電文」の受渡しが可能に。  
 XMLとは、eXtensible Markup Languageの略称。膨大な情報を搭載する技術。

## ■ 全銀EDIシステムの概要

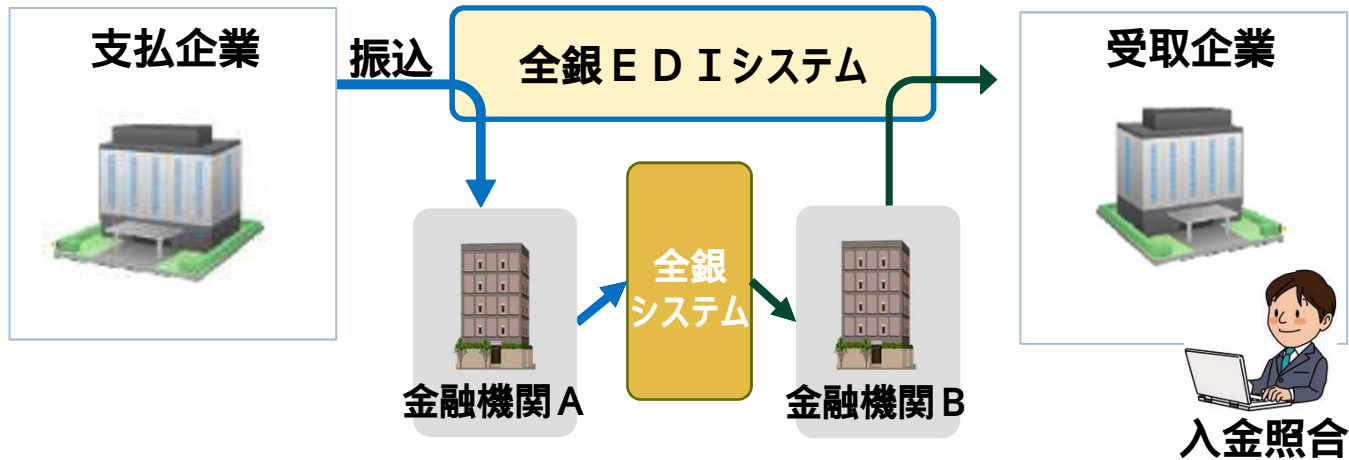


・ '(IB)' は、インターネットバンキングの場合。

個別金融機関が自行システム等を改修し、企業から直接XML電文を受け付ける。インターネットバンキングのファイルアップロード、ダウンロードについては '(IB)' を採用。

・全銀EDIシステムはプラットフォームであるため、FBサービスの申込対応等は、各金融機関で実施。

# ■ 決済業務の効率化のメリットを享受するために



対応	対応	対応	対応	決済業務の効率化！ ↓ ✖ 拡張された金融EDI情報が受取企業に到達しない メリットが享受できない
対応	対応	対応	未対応	
対応	対応	未対応	対応	
対応	未対応	対応	対応	
未対応	対応	対応	対応	

## ■ 金融機関による新たなサービスの提供

### 想定事例

商取引実態の把握  
による経営サポート  
や各種提案

### 想定事例

商取引に係る情報の  
集計・統計による、  
マクロなビジネスの  
将来予測や業界動向  
の分析

### 想定事例

商取引に係る情報に  
基づく融資  
(トランザクション・  
レンディング)

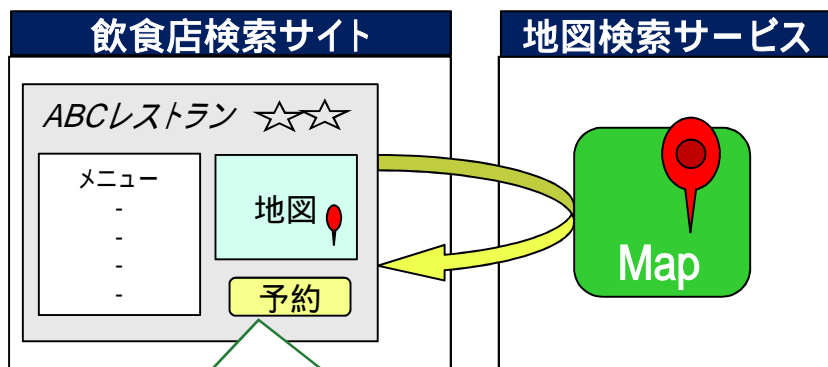
金融EDI情報を活用することにより、  
売掛金の消込の効率化や電子領収書その他、  
金融機関等による新たなサービスの提供が期待される。

# APIとは

- API ( Application Programming Interface ) とは、他社システムの有する機能、データ等を自社システムから呼び出して利用する仕組み
- 銀行界のオープンAPIとは、改正銀行法で定義された電代業者等の、サードパーティ（他のFintech企業等）からアクセス可能な口座情報の伝達、為替の指図を行うAPIを指す

## < 一般的なAPIの利用例 >

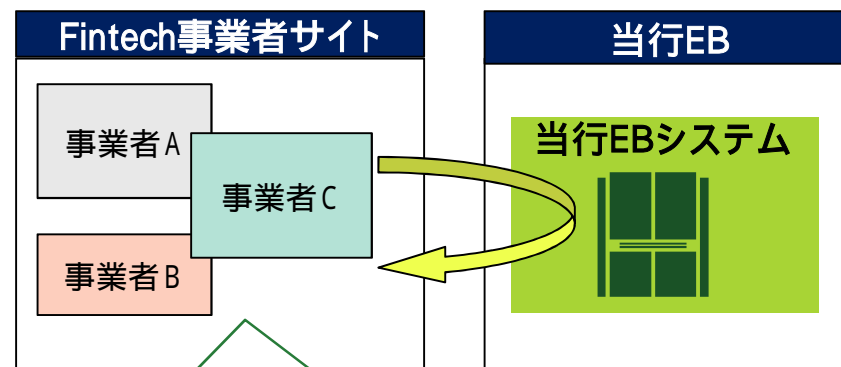
飲食店検索サイトの地図検索サービス



飲食店検索サイト上で地図検索サービスのAPIを呼び出し、サイト上にマップを表示。

## < オープンAPIの利用例 >

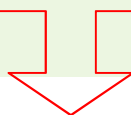
事業者サイト上での当行EB利用



Fintech事業者サイトから当行EBを利用し、明細確認、振込の利用が可能。

## ■ APIを取り巻く環境変化

- ✓ 改正銀行法：  
2号業者については、2020年6月以降、契約締結義務を負うことから、現状スクレイピングによるサービスを展開している事業者がAPI利用への移行が進行。
- ✓ 特に欧州拠点においては、PSD2規制によりAPI推進が進行し、外銀におけるAPI利用が拡大傾向にある。



2016年1月「PSD2 (Directive on Payment Services ) : 第二次EU決済サービス指令」

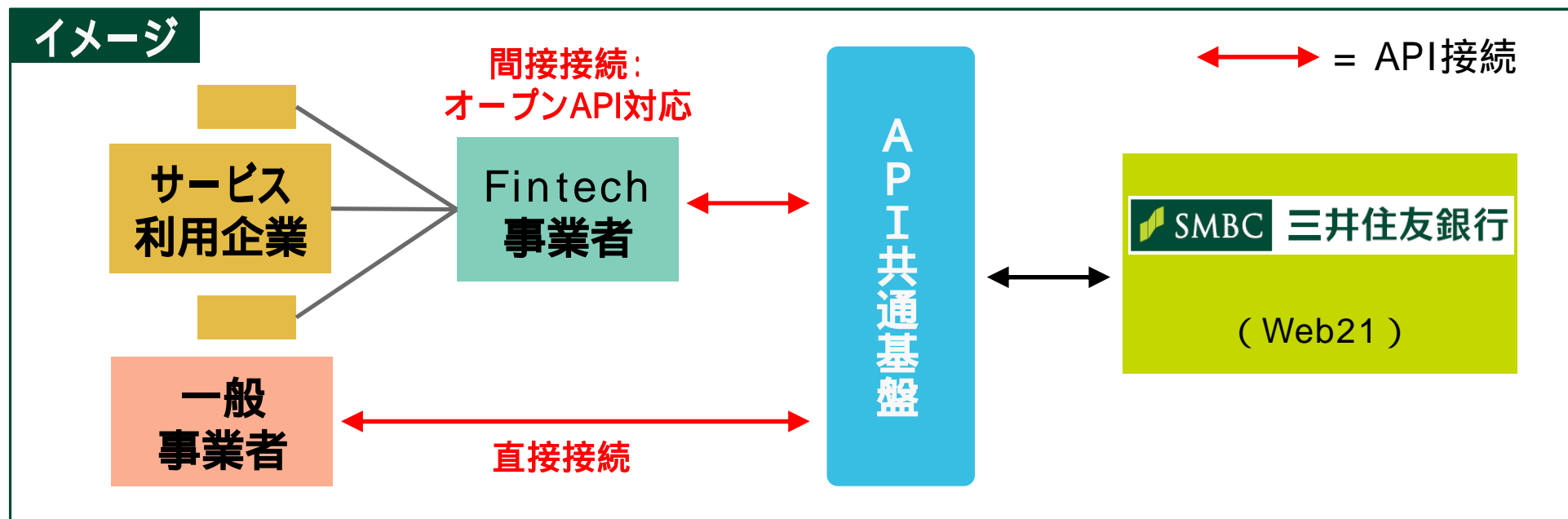
- 「新規参入許容による競争の促進」「決済コストの削減」「決済のセキュリティ強化」が目的。
- 金融機関に対して、第三者(Fintech業者や他金融機関)へのオープンAPI公開を義務付ける内容が含まれている。



制度対応として捉えるのではなく、商機と捉え、企業のAPI活用を促進

## ■ 三井住友銀行の法人向けAPIサービス

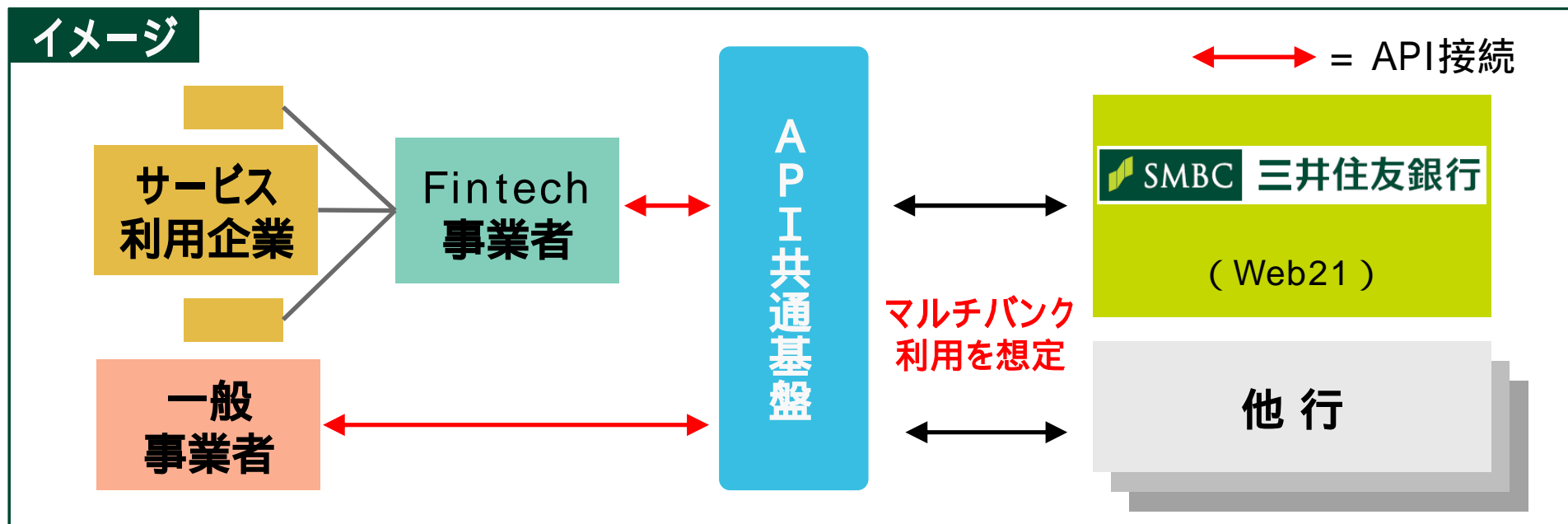
- ✓ Fintech事業者向け <オープンAPI・間接接続> :  
事業者の会計ソフト等と当行サーバーを連携することで、会計ソフト利用者は、ソフト上から当行EBの利用が可能（オープンAPI対応）
- ✓ 一般法人顧客向け <クローズドAPI・直接接続> :  
企業サーバーと当行EBシステムをAPIで連携し、入出金明細取込、振込等が可能。





## ■ API接続に至る経緯

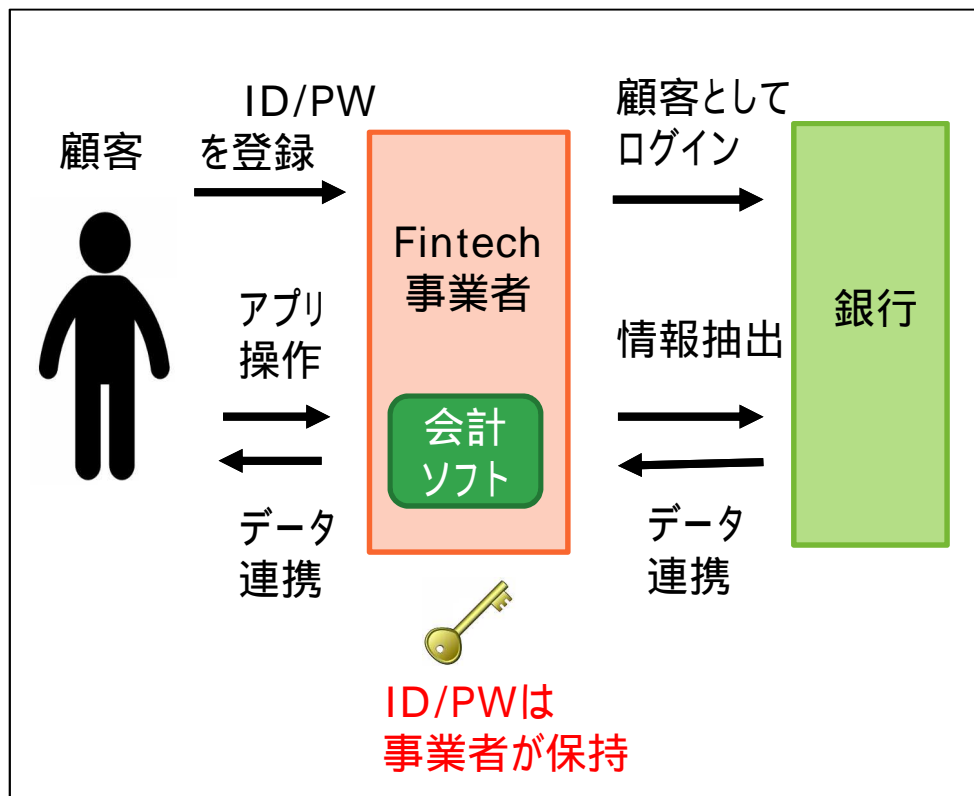
- ✓ 法人向けAPIサービスは、インターネットバンキングを提供するAPI共通基盤を活用。
- ✓ マルチバンクでの接続ニーズを想定し、Fintech事業者の開発負担の軽減も見込めるAPI共通基盤を選定。



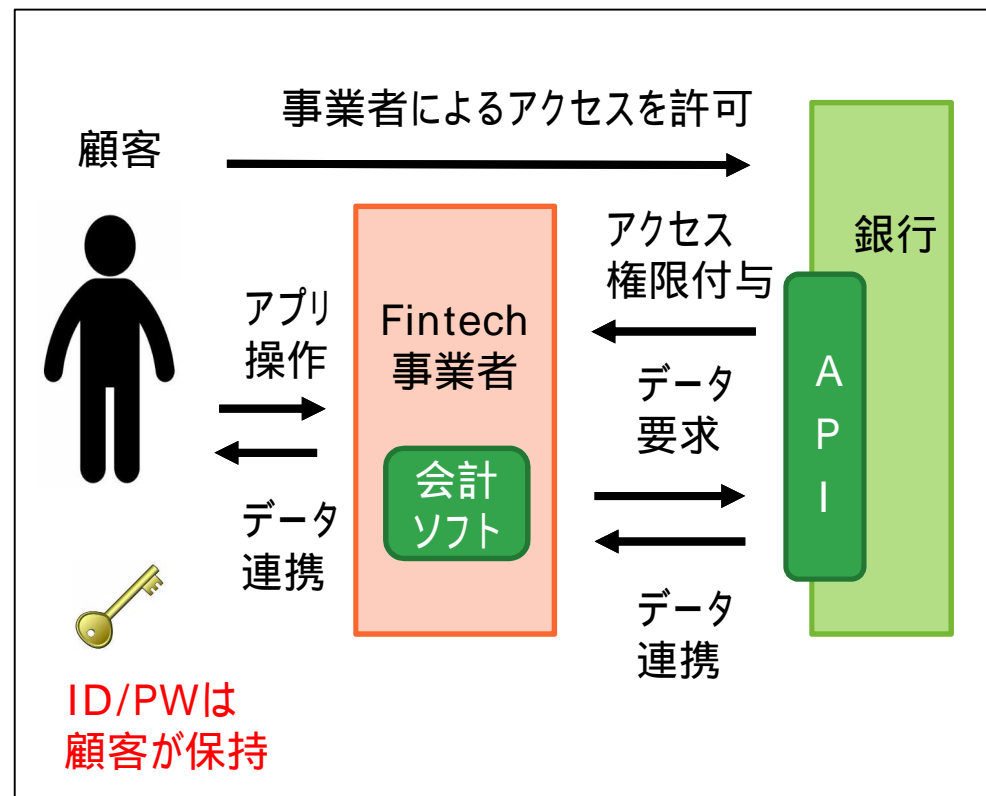
## ■ 間接接続 (Fintech事業者向け) の導入事例

- 従来スクレイピングにて、金融機関との連携を行っていた事業者が、セキュリティ強化を目的に電代業者の登録、ならびに当行とのAPI契約を行い、利用者に対しセキュアな環境での会計ソフトの利用を実現。
- 接続チェックリストは、サービス提案時に手交。電代業者登録と並行して進める事業者もあり。

### < 導入前 >

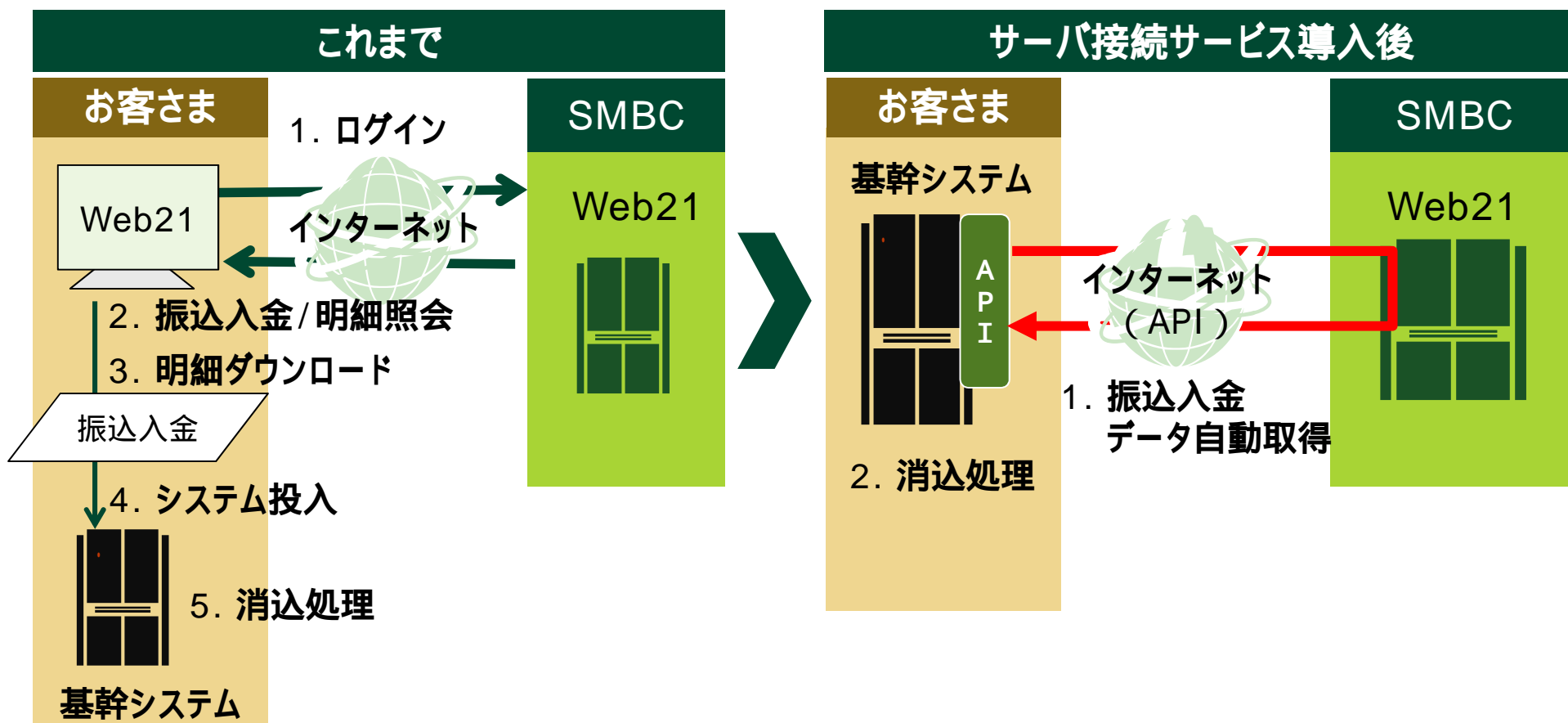


### < 導入後 >



## ■ 直接接続(一般事業者向け)の導入事例:参照系

- 定期的にインターネットバンキングにアクセスする業務がある金融業、IT会社等において、業務の自動化、業務効率化を目的に、参照系APIの導入が進んでいる。
- API接続に伴うシステム構築は自社開発が前提。  
(利用例) 金融業者が15分に一度、自社内の取引振を自動で確認。

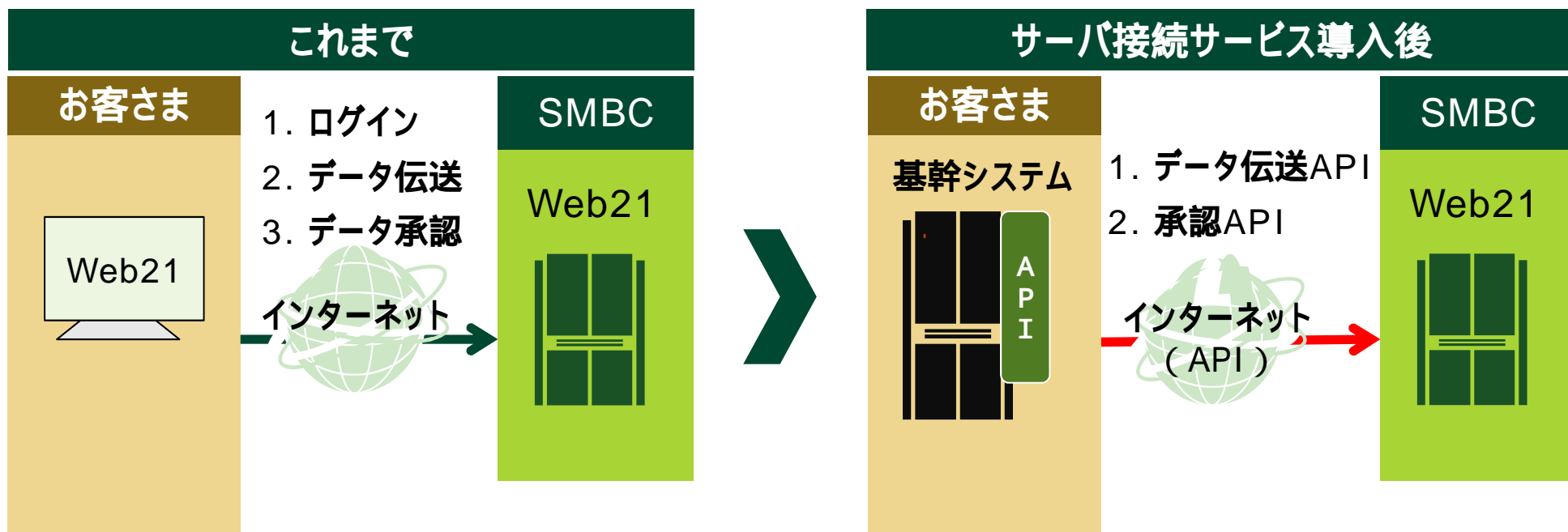


## ■ 直接接続(一般事業者向け)の導入事例:更新系

- インターネットバンキングにアクセスする業務がある金融業、IT会社等において、業務の自動化、業務効率化を目的に、更新系APIの導入が進んでいる。
- API接続に伴うシステム構築は、自社開発が前提。

(利用例 1) 一般事業者の定例振込業務を自動化することで、業務効率化を実現。

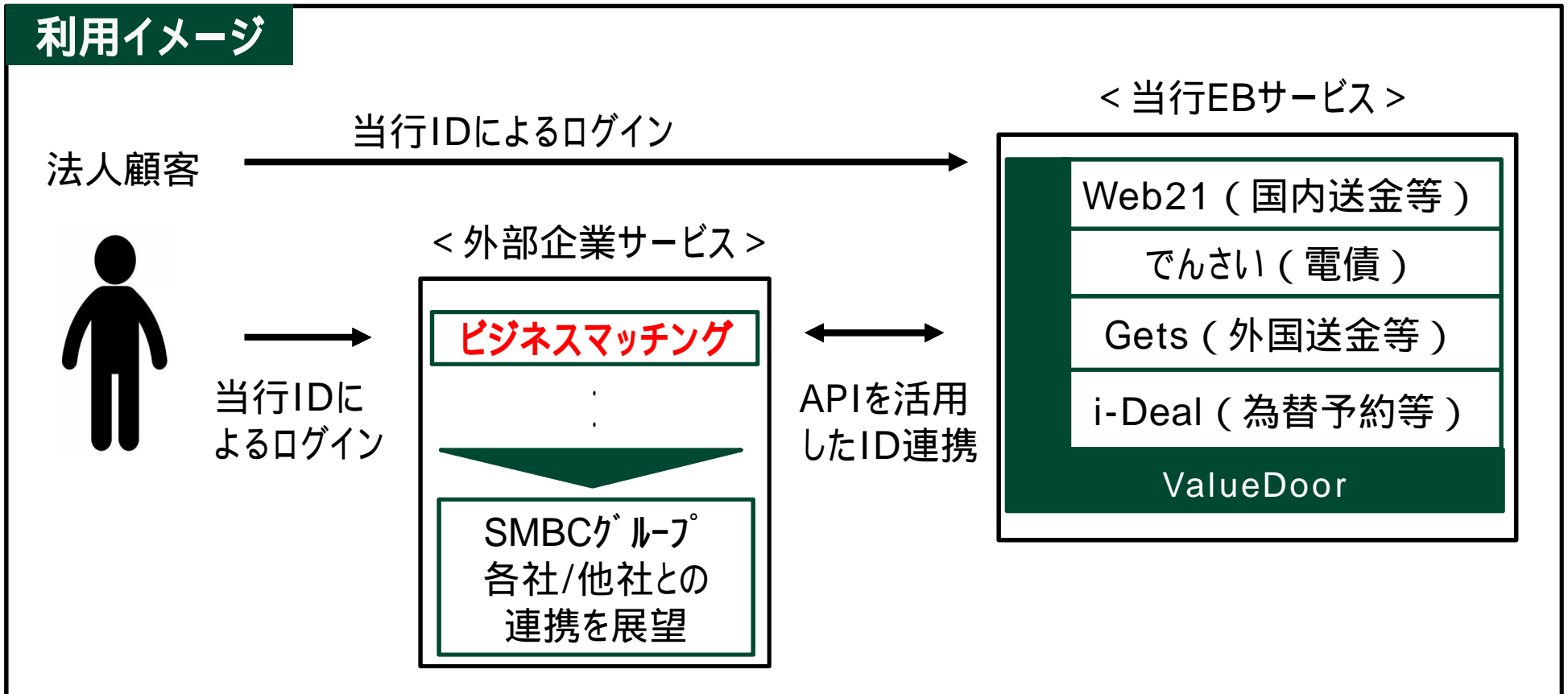
(利用例 2) 金融業者がサービス提供時に即時に自動振込を行えることで、顧客の利便性ととも、自社の人件費削減に寄与。



## ■ APIを活用したデジタル化の推進

- デジタル化の施策として、外部サイトに当行IBのIDでログインできる機能を開発。
- 足がかりとして、ビジネスマッチングサイトを立ち上げ、顧客同士がオンライン上でコミュニケーションが取れる体制を整備。今後、SMBCグループ各社、他社連携を展望。

### 利用イメージ



## ■ 【ご参考】<三井住友銀行>SWIFT DIRECT ACCESS サービス概要

SWIFTに加盟する企業に対し、当行がSWIFTネットワークを利用し直接資金移動指示を受け付けたり、口座明細を還元することで、グローバルな資金管理の効率化をサポート。

- 資金移動指示の受付（MT101,FileAct）
- 口座明細の送信（MT940,MT942,FileAct）

